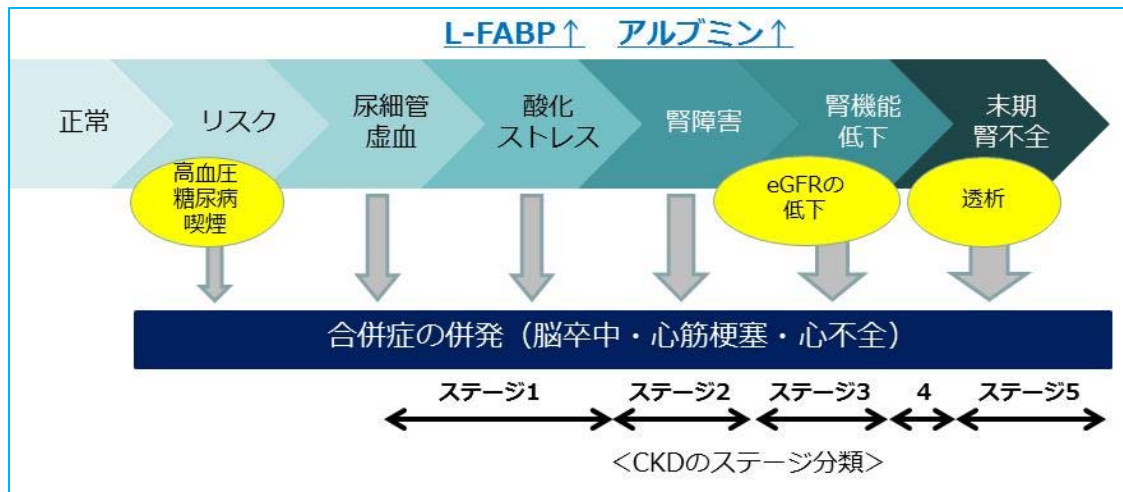


(別紙)「CKD リスクチェック」について

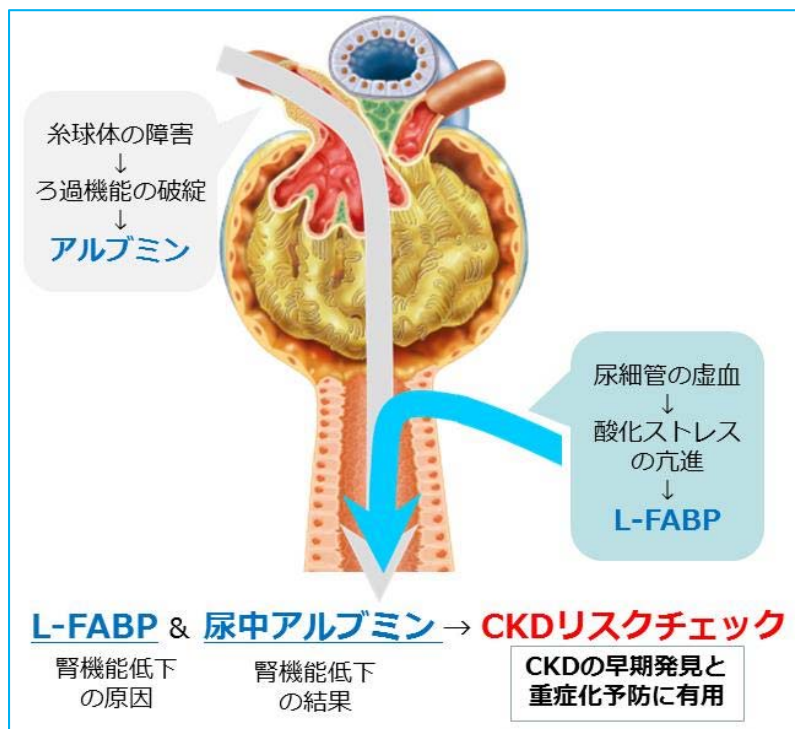
○ CKD の発症と進行の概念

尿蛋白や eGFR は、腎機能障害がある程度進んでからでないとも CKD を発見することが難しいと言われております。



○ 「CKD リスクチェック」検査のメカニズム

「CKD リスクチェック」は、「L-FABP」と現在の CKD 診断のゴールデンスタンダードで、腎臓の糸球体障害を反映している「尿中アルブミン」を組み合わせることで、より早期かつ正確に腎機能の低下を把握し、高精度にリスク群を判別することができます。



- 数値のみでなく、独自のコメントを付加した報告書により、慢性腎臓病のリスクをわかりやすい形で、報告書として提供します。



以上